

第25期 メンバー募集のご案内

2025年11月13日(木) スタート

企業価値を高める“モノづくり”のための“品質革新”と“マネジメント向上”をめざす
品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダー・スタッフの相互啓発と共同研究の会

品質革新マネジメントフォーラム

開催にあたって

近年の大きな社会変容の渦中において、このところの急激な経済環境の変化と相まって製造業の国内回帰が重視されつつあります。一方、SDGs、ESG等サステナブルなグローバル競争の中、あらためて“ものづくりの真髄である「品質」こそが企業価値を左右する大きなファクター”と言えましょう。

当フォーラムは2000年の発足以降継続して研究討議活動を重ねて参りました。第25期を迎えるにあたり、品質保証部門の役割が益々増大する中で“攻めの品質”を合言葉に新たな付加価値創造を目指し、次世代を担う若手も交えて互いにオープンな議論を通じて絶え間ないイノベーション創出に挑戦して参ります。是非とも熱意ある多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

*正式入会をご検討中の方は、第1回例会に限り無料で体験参加頂けます(要事前予約)。

開催期間

期間：2025年11月～2026年8月(全10例会)

日時：「年間プログラム」の開催日程に沿って開催(原則13:00～17:00)

開催：会場開催(東京・田町周辺の会議室)を基本としオンライン(Zoom)との併用開催も予定 *状況により開催方法が変更になる場合もございます。

第1回例会 日時：2025年11月13日(木) 13:00～18:00

基調講演 生成AI時代、社会価値向上に向けた「標準化と品質マネジメント」
～SDCAサイクルにベストを尽くせ!!～

(ご講演) 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 副施設長
統計数理研究所名誉教授／筑波大学ビジネスサイエンス系名誉教授 **椿 広計 氏**



オリエンテーション 前期活動報告／今期討議テーマ(下記の5テーマ参照)の概要説明／テーマ別グループ討議の仮体験、など

略歴

82年東京大学工学部計数学科助手、87年慶応義塾大学理工学部数理科学科講師、97年筑波大学大学院経営システム科学専攻助教授・教授、2005年統計数理研究所リスク解析戦略研究センター長、07年データ科学研究系教授、副所長を経て、15年統計センター理事長、19年情報・システム研究機構理事・統計数理研究所長、24年データサイエンス共同利用基盤施設副施設長を兼務。25年統計数理研究所長を退任。
この間、応用統計学会会長、統計関連学会連合理事長、日本品質管理学会会長、品質工学会会長、ISO TC69「統計的方法の適用」SC8「新商品・新技術開発のための統計・関連技法」議長などを歴任、現在、総務省統計委員会委員長、横断型基幹科学技術研究団体連合会長、日本自殺総合対策学会理事長などを務める。

第2回例会 合宿研究会 日時：2025年12月12日(金)～13日(土) 静岡県御殿場市方面での宿泊研修

【希望テーマ別グループ討議(第1回)】 希望テーマアンケートを実施後、グループに分かれて、メンバー各社の現状と課題などを共有した上で、各自・各社の知見・実践事例を持ち寄り、課題解決に向けた方策について以降、最終例会まで継続して集中討議を進めます。

＜第25期の5つのグループ討議テーマ＞

- 未来の品質保証部門の姿を描く会 ～将来世代に向けて、現在の私たちが挑戦すべき「品質改革のポイント」
- 品質風土醸成・自社品質革新活動が生み出す、自社品質Way化の実現に向けて
- 次世代を担う品質担当者による主体的エンゲージメント向上委員会 ―Final Season―
- 品質を革新するリスクマネジメントの実践方法
- イノベーション創出による社会価値とブランド成長を促進する「理想の品質保証」

第3回例会 日時：2026年1月22日(木) 13:00～17:00

ゲスト講演 キャタラーにおける品質経営・品質革新の取り組み(仮題)

(ご講演) (株)キャタラー コーポレート戦略本部 TQM推進部部长 **藤村 健作 氏**



略歴

2002年(株)キャタラー入社。品質管理部で自動車用触媒の品質保証業務に従事し、07年に北米工場へ出向。11年帰任後14年にTQM推進室室長としてデミング賞受審事務局などを担当。16年経営企画部にて方針管理・デミング賞大賞の受審にも尽力。19年よりTQM推進部長を務め、海外拠点の品質経営推進・デミング賞挑戦に従事している。経営企画・TQM推進・品質管理の側面で豊富な経験を持つ。

【希望テーマ別グループ討議(第2回)】

第4回例会 日時：2026年2月26日(木) 13:00～17:00

(アドバイザー講演・ディスカッション／希望テーマ別グループ討議)

【基本解説】攻めの品質：新たな付加価値創造に向けて(仮題)

本フォーラムアドバイザー松浦 強 氏(オフィスM企画 代表／元 オリnpas (株)品質環境本部長)の基本解説と運営幹事・メンバーも巻きこんでのディスカッション

【希望テーマ別グループ討議(第3回)】



フォーラムの構成と運営要領

◆基本理念

本フォーラムは、参加メンバーの共同研究と相互啓発を通じて、品質革新に向けた実践方策、経営改革を目指した質の向上、人材育成等の諸問題を取り上げ、主体的にその見解と具体策を交流・討議し合うことを目的とします。

◆メンバー

本社・事業部・工場の品質保証部門、リスク管理、安全・環境部門等の担当幹部、責任者、マネジャー、次世代リーダー、ご担当者まで、幅広い皆様を対象としています。

参加メンバーはギブ・アンド・テイクをモットーに主体的に研究討議に参加し、その成果はメンバー間で共有するものといたします。

◆例会日と例会連絡

原則として「年間プログラム」の開催日程に沿って開催（13：00～17：00）

※Ex.13：00～15：00（ゲスト講演）／15：00～17：00（希望テーマ別グループ討議）

例会の詳細は、事前にEメールにてご案内を差し上げます。

◆運営幹事（会社名50音順）※メンバーの代表として本フォーラムの活動にご協力頂くとともに、グループ討議の進行・運営サポートを頂きます。

- 森馬 洋氏 (株)エネコートテクノロジーズ 品質保証部 スペシャリスト
- 香取 知氏 グローリー(株) 品質保証本部 品質保証支援部 品質保証支援G グループマネージャー
- 古荘 拓朗氏 (株)国際電気 鉄道ソリューション本部 新幹線特別プロジェクト 主任技師
- 水谷 洋氏 コスモエネルギー HD(株) サステナビリティ推進部 リスクマネジメントG長
- 小城 真一氏 太陽誘電(株) 品質保証室 品質保証部
- 木村 哲夫氏 パナソニック(株) 空質空調社 品質・環境センター 所長
- 山本 芙美氏 パナソニック(株) エレクトリックワークス社 品質環境・基盤技術センター 品質戦略企画部 部長
- 渡部 守氏 富士フイルム(株) イメージングソリューション事業部 品質保証グループ 技術マネージャー
- 三島 浩一氏 三菱電機(株) AI戦略プロジェクトグループ Associate Expert
- 臼井 剛氏 ヤマハ(株) 業務本部 品質保証部長
- ※ほか数氏ご依頼、ご検討中

◆アドバイザー ※本フォーラムの活動に対し、適宜アドバイス・サポートを頂きます。

- 松浦 強氏 オフィスM企画代表（元オリンパス(株) 品質環境本部長）
- 原 博氏 H2 Lab. 代表（元富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部技術担当部長）
- 一柳 高人氏 MS2i 代表（元コニカミノルタ(株) 環境経営・品質推進部品質推進グループ課長）
- 山田 透氏 (株) Bizits パートナース シニアパートナー（元 コマツ 常務執行役員 品質保証本部長）
- 寄口 孝行氏 (株) 寄口技術士事務所 代表（元(株)資生堂 品質保証部 品質管理2グループマネージャー）
- ※9月末日現在

今期（第25期）の年間プログラム

開催日	内 容
第1回例会 2025年 11/13(金)	【基調講演】生成AI時代、社会価値向上に向けた『標準化と品質マネジメント』 (ご講演) データサイエンス共同利用基盤施設 副施設長 椿 広計 氏 【オリエンテーション：前期活動報告／今期討議テーマの概要説明／テーマ別グループ討議の仮体験、など】
第2回例会 12/12(金)・13(土)	合宿研究会【希望テーマ別グループ討議（第1回）】
第3回例会 2026年1/22(木)	【ゲスト講演】キャタラーにおける品質経営・品質革新の取り組み（仮題） (ご講演) (株)キャタラー コーポレート戦略本部 TQM推進部部长 藤村 健作 氏 【希望テーマ別グループ討議（第2回）】
第4回例会 2/26(木)	【アドバイザー講演】「攻めの品証」を合言葉に、新たな付加創造に向けて（仮題） 【希望テーマ別グループ討議（第3回）】
第5回例会 3/12(木)	以降のプログラムについて 下記の構成で進めてまいります（時間配分は目安です）。 13:00 15:00 17:00 ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供 ●品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ●先進の取り組み事例、アプローチ策 ●専門家による品質革新の新しい潮流、など 個別テーマに沿ったグループ集中討議 ●参加企業相互の事例交換 ●課題解決方策の徹底追求 ●他では聞けない知識の共有、など
第6回例会 4/16(木)	先進企業の実務家や専門家等をお招きし、品質保証に関連する様々な視点からお話を伺います。その後、質疑・意見交換を通じて双方向のコミュニケーションを図ります。 今期（第25期）は5つのテーマを挙げさせて頂きました。メンバーの皆様は各グループに分かれ各社の課題への取り組み等について意見交換をして頂きます。ホッポの議論の中から、新たなアイデア・次の展開へのヒントを探ります。
第7回例会 5/21(木)	
第8回例会 6月中下旬(金)土 合宿研究会	
第9回例会 7/16(木)	次回の最終例会に備え、グループ別の集中討議
第10回例会 8/27(木)	各グループより討議成果報告と全体共有 ～今期の振り返りと新たな課題意識の共有～

※日程等変更となる場合がございます。その際は速やかにご案内いたします。

今期（第25期）のグループ討議・5つのテーマのご紹介

グループ	討議テーマとポイント
A	未来の品質保証部門の姿を描く会 ～将来世代に向けて、現在の私たちが挑戦すべき「品質改革のポイント」～ 先を見通しにくい現在、品質保証部門に求められる業務には、大きくかつスピード感をもった変化が今まで以上に求められます。変化の方向を定める方法として、一度視点を未来に置きそこから今の我々を見つめると、確度を上げた方向が見えてきます。 議論では「将来世代から『先輩の取り組みは、我が社にとって、またお客様や社会といった社外からも評価され、有難かった』と感じてもらえること」をイメージしながら、今から挑戦すべき品質改革のポイントについて深掘りします。未来を見据えて、是非一緒に議論しましょう！
B	品質風土醸成・自社品質革新活動が生み出す、自社品質「Way化」の実現に向けて 品質経営の実現には、「全社員参加による品質革新活動の実行」と、「組織の品質風土・文化の醸成」が不可欠です。その実現に向け、品質部門がリーダーシップを発揮し、自社の品質マネジメントの思想・哲学、品質風土などをDNA化＝Way化し、それを源泉として、品質革新活動を推進することで、顧客感動を高水準で実現できます。 「自社の品質マネジメントのWay化の意義と醸成の仕方とは?」「顧客感動を実現するための品質革新活動のあり方とは?」「品証部門の組織牽引のあり方とは?」等について議論を行い、参加者の品質革新活動のバイブルとなる成果を目指します。
C	次世代を担う品証担当者による、主体的エンゲージメント向上委員会 –Final Season– 重大な責任や嫌われ役、求められるスキルの高さから、エンゲージメントが低くなりやすい品質保証部門。それを解決すべく、管理者層だけでなく若手・中堅が主体となり、自らモチベーション・エンゲージメントの向上を目指した建設的議論を実施してきました。若手層が品証業務をポジティブに捉えつつある中で、今期は、前期に議論に至らなかった課題と、解決策の深堀を行うべく、ディスカッションを中心に進行していきたいと考えています。会社や管理者層とのギャップに悩んでいる若手・中堅者、また、若手・中堅の本音を聞いてマネジメントに活かしたい管理職の方、お待ちしております！
D	品質を革新するリスクマネジメントの実践方法 品質マネジメントの向上を目指し、リスクマネジメントの視点から新たなアプローチを探索します。 製品開発におけるリスク評価手法や、サービス品質向上のためのリスク対策事例を共有し、それらを進化させ実践するための組織づくりや人材育成について討議します。 答えのない課題に直面している方、ぜひご参加ください。 多様な意見を交え、実践的な知見を深める場にしましょう。皆様のご参加をお待ちしています！
E	イノベーション創出による社会価値とブランド成長を促進する「理想の品質保証」 企業の社会価値向上及びブランド成長の実現には、「生成AI等の最先端ソリューションの積極活用」と「従業員能力の最大化」等により、企業体質を強化し、製品・サービスを魅力的品質へ昇華させることが必要です。 品質保証部門が先取り力やスピード感を強く意識したリーダーシップを発揮し、企業と自部門のイノベーション創出を促進する品質保証戦略を企画・推進することが求められます。これらを実現するために品質保証部門は何を仕掛け、実行すべきか？ 本グループでは、これらについて探索し、理想の品質保証組織と人の姿を描き、その実現方法について議論します。

※参加希望テーマアンケートを実施後、各グループに分かれ継続して集中討議を進めます。他テーマも検討・調整中。

例会	前期(24期)の活動経過
1	（基調講演）品質保証と顧客価値創造 青山学院大学 名誉教授 石津 昌平 氏 【オリエンテーション／今期討議テーマの概要説明（前期活動報告も交えて）／テーマ別グループ討議の仮体験など】
2	【合宿研究会】希望テーマ別グループ討議（第1回）
3	（ゲスト講演）新時代に求められる“真・品質経営モデル”の提唱 東海大学 情報通信学部 教授 金子 雅明 氏 【テーマ別グループ討議 第2回】
4	（パネル講演）『攻めの品証』を合言葉に新たな付加価値創造に向けて オフィスM企画 代表／元オリンパス㈱ 品質環境本部長 松浦 強 氏 【テーマ別グループ討議 第3回】
5	（メンバー話題提供）Dynamic Risk Management ～リスクから価値を生み出す学びと実践～ 三菱電機㈱ AI戦略プロジェクトグループ Associate Expert 様 【テーマ別グループ討議 第4回】
6	（アドバイザー講演）品証部門の役割変化・拡大に伴う新たな対応とスタッフ・マネジャーの役割・資質 アルバック㈱ 生産本部生産技術部 担当部長 様 【テーマ別グループ討議 第5回】
7	（ゲスト講演）LIXILの品質活動の変遷と製品安全活動 ～令和6年度 PSアワード経済産業大臣賞受賞～ ㈱LIXIL 安全・品質統括部 統括部長 様 【テーマ別グループ討議 第6回】
8	（合宿研究会）コマツ 粟津工場の訪問見学と取り組み拝聴と意見交換 【テーマ別グループ討議 第7回】
9	最終発表会委向け、グループ別に徹底集中討議
10	各グループより1年間の研究討議成果の発表会。終了後は成果共有と懇親会

メンバーの声 (ご参加アンケート、コメントより抜粋)

- 10年、20年、30年先を見据えた議論から「不確定要素は高いが備えておくべき視点」について考えることができ、新しい気づきや発見がありました。不確定要素が多いため、定期的に見直すことも重要ですが、このような検討プロセスを経験し実践することは、自分の視野や考え方を広げるだけでなく、組織全体の方向性を合わせる上でも非常に役立つと思いました。
- 品質保証にAIを取り込む上で、その仕組み、どこまで保証するか、を考えることは、品質部門が今後取り組むべき最重要課題であると同時に、このような新しい仕事は、若手社員が品質保証に興味・関心・魅力を持つきっかけになるのではないかと思います。
- 「理想の品質」に向け、業種や立場を越え、必死で議論に取り組んだ1年でした。先が見えない中で見出したのは「顧客価値創造を先導するためには、品質文化醸成・ブランド力向上・ブランド力維持の三位一体を継続鍛錬することが肝要」という答えでした。先取り・スピード・能動・攻めの姿勢で組織的鍛錬を重ね、協働し課題を解決する…等々、グループで語った言葉、描いた理想像を大切に、各自が未来の品質の中核を担っていきましょう。
- 討議を開始すると各人の置かれた状況(激流、堤防、スーパー堤防)によって見えている景色が異なり、イノベーションやブランドの考え方も全く一緒にはならないことが分かりました。そこで各人の経験や思いを整理し共通の考え方(グループとしての言葉の定義)に至ることが出来、最後には理想の品質の実現に向けた課題と、実施すべき事項にまとめることが出来ました。今後、何か迷った際には、この資料を読み直しどのような心構え・態度でコトに当たっていけばいいかの指針にして欲しいと思います。
- 品質業務は、従来より抱いていた以上に創造性のある業務(クリエイティブ)であると再認識しました。また、品質部門の担当者は業務に対してやりがいを持って取り組んでいる一方で、他部門にとっては業務内容が見えづらく、ネガティブな側面が強調されがちです。品質業務の意義や魅力を積極的に発信することが、品質部門の人財形成(組織能力向上)につながると感じました。
- 活発で前向きな議論を通じ、品質・品質業務への理解を深めることができ、更に様々な改善のヒントを頂きました。また、皆さんの実践する力強さに感動。皆さんを見習い失敗を恐れず改善を進めたいと思います。品質業務に限らず今後の人の価値とはという哲学的な事を考える興味深い機会にもなりました。
- 今期の討議を通じレジェンド社員が特別な存在ではないかと思った。レジェンド社員になりうる社員を生み出すための仕組みを試行錯誤しながら準備し、どの組織にもリスクマネジメントの布が置けることが当たり前になるよう努めます。あわせて、センスや論理力向上に向け、ツールの活用や日頃からの問題意識を高めていきたい。

前期(第24期)ご参加メンバー一覧(主登録者および副登録者)*敬称略・順不同 (26社、54名が参加)

(株)アルバック	グロス&デベロップメント室 担当部長	セントラル硝子(株)	品質保証統括部 化成品品質保証グループ 課長
(株)アルバック	生産本部 生産技術部 担当部長	セントラル硝子(株)	品質保証統括部 化成品品質保証グループ
UBE(株)	品質保証部 機能品品質保証グループ 機能品チーム 主席部員	ダイキンレクザムエレクトロニクス(株)	品質管理部 次長
UBE(株)	品質保証部 化学品品質保証グループ ファインチーム	ダイキンレクザムエレクトロニクス(株)	品質管理部 グループリーダー
UBE(株)	ナイロン品質保証グループ 第二チーム チームリーダー	太陽誘電(株)	品質保証室 品質保証部 課長
(株)クラレ	サステナビリティ推進本部 品質マネジメント部	太陽誘電(株)	品質保証室 品質保証部
(株)クラレ	イソプラカンパニー エラストマー事業部 品質・商品開発部品質保証グループ主管	パナソニック(株)	空質空調社 品質・環境センター 所長
グローリー(株)	海外カンパニー 流通製品品質保証部 製品評価グループマネージャー	パナソニック(株)	エレクトリックワークス社 品質環境・基盤技術センター 品質戦略企画部 部長
グローリー(株)	品質保証本部 品質保証支援部 部品・識別G 主任技師	パナソニック(株)	空質空調社 品質・環境センター 品質推進部 品質監査・改善課 課長
グローリー(株)	品質保証本部 品質保証支援部 品質保証支援G グループマネージャー	パナソニック(株)	エレクトリックワークス社 品質環境・基盤技術センター 品質企画部 品質企画課
(株)国際電気	鉄道ソリューション本部 新幹線特別プロジェクト 主任技師	パナソニック(株)	空質空調社 品質・環境センター 品質推進部 品質企画課 主務
(株)国際電気	品質保証本部	(株)フコク	安全・品質本部 本部長
(株)国際電気	品質保証本部 プロダクト品質保証部 主任技師	(株)フコク	安全・品質本部 品質保証部 QMS課 マネージャー
コスモエネルギーホールディングス(株)	サステナビリティ推進部リスクマネジメントグループ長	富士フイルム(株)	イメージングソリューション事業部 品質保証グループ
コスモ石油(株)	中央研究所 品質管理グループグループ長代理	富士フイルム(株)	イメージングソリューション事業部 品質保証グループ
小西化学工業(株)	理事 品質保証部長	富士フイルム(株)	イメージングソリューション事業部 品質保証グループ技術マネージャー
小西化学工業(株)	品質保証部 チームリーダー	丸善石油化学(株)	品質保証部 品質保証グループリーダー
寄口技術士事務所	代表	丸善石油化学(株)	品質保証部 品質保証グループ 主事
サンスター(株)	薬事・品質保証部品質保証グループ	三菱電機(株)	品質保証部 品質保証課
サンスター(株)	薬事・品質保証部品質保証グループ	三菱電機(株)	AI戦略プロジェクトグループ Associate Expert
(株)資生堂	品質保証部 品質監査G グループマネージャー	三菱電機(株)	DXイノベーションセンター 開発・品質管理部 Associate Expert
(株)資生堂	品質保証部 デザインリスクマネジメントグループ	(株)村田製作所	品質保証部 マネージャー
住友化学(株)	エッセンシャルケミカルズRC推進部 主席部員	ヤマハ(株)	業務本部 品質保証部長
住友化学(株)	レスポンシブルケア部 主席部員	ヤマハ(株)	楽器事業本部品質保証部品質評価グループリーダー
住友化学(株)	千葉工場品質管理部 部長	ヤマハ(株)	業務本部品質保証部製品コンプライアンスグループリーダー

参加要領

【事業コード：250314】

参加料

1社1~2名様でご参加の場合(主登録者+副登録者①)

正会員 (※税込)	253,000円 (本体価格230,000円)	一般 (※税込)	286,000円 (本体価格260,000円)
---------------------	-----------------------------------	--------------------	-----------------------------------

1社3名様でご参加の場合(主登録者+副登録者①+副登録者②)

正会員 (※税込)	308,000円 (本体価格280,000円)	一般 (※税込)	341,000円 (本体価格310,000円)
---------------------	-----------------------------------	--------------------	-----------------------------------

- *各社派遣されるご人数様により、参加料が上記2通りございます。
- *合宿研究会、見学会、懇親会等を開催の場合は、別途実費を申し受けます。
- *分割お支払い等も承ります。お気軽にご相談ください。
- *期の途中での副登録人数の変更は応じかねます。予めご了承下さい。

体験参加について

第1回例会(11/13)は、入会ご検討中の方に限り、正式申込前の体験参加が可能です。
ご希望の方は、お申し付けください(人数制限がございます)。

申込方法

- (1) Web：企業研究会ホームページからお申込みください。
「お申込はこちら」からお申し込みいただけます。

品質革新マネジメントフォーラム

- (2) Eメール：下記担当者宛に以下をお知らせください。

- ①御社名 ②郵便番号/所在地 ③主登録者のお名前(ふりがな)
④主登録者のご所属お役職 ⑤主登録者のメールアドレス
⑥主登録者の電話番号 ⑦副登録者のお名前(ふりがな)
⑧副登録者のご所属お役職 ⑨副登録者のメールアドレス
⑩副登録者の電話番号

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 企業研究会 担当：小野原(おのはら)

TEL：080-1393-5593 e-mail：onohara@bri.or.jp

〒110-0015 東京都台東区東上野1-13-7 ハナブサビル
https://www.bri.or.jp/hinsitu/